

東京土建渋谷支部 平和映画を見る会

第6回ねりま沖縄映画祭2021「わたしの沖縄、あなたの沖縄」に行こう!

日時：2021年11月13日(土) 11時～13時30分

会場：武蔵大学江古田キャンパス2号館2202教室

集合場所：10時30分 江古田駅 南口

参加費：無料 (下記注意書きをお読みください)

チケット代 1,000 円は、組合員とその配偶者及び子については、全額支部から補助します。補助の対象外の方(友達や両親等)が参加を希望される場合でも、チケットは組合でまとめて手配しますのでお気軽に問い合わせください。発生したチケット代は、当日の集合場所でチケットと引換えてご請求いたします。

申込期日：2021年10月末日

期日後も対応できる場合がございますので、ご希望の方はお申し出ください。

鑑賞作品～沖縄テレビ・ドキュメンタリー特集

①【むかしむかしこの島で】 2005年 48分

TVドキュメンタリー 2005年 48分 カラー 制作：沖縄テレビ放送「島の形が変わった」と言われるほど激しい地上戦が繰り広げられた沖縄戦。米軍が撮影した沖縄戦の記録フィルムがアメリカ公文書館に保管されていた。「反戦平和なんて僕には関係ない」と言い放つ上原正稔氏は、記録フィルムに残されている場所と人を特定したいと沖縄各地を調査し、証言を集めてきた。「大切なことは、沖縄戦を撮影したフィルムに、無数の沖縄住民の姿が映っているということだ。ボクは、フィルムの中の『主人公』たちに、この映像を届けたいんだ！」各地で開かれた上映会で、映像の中に、自分自身や家族、知人の姿を見つけて、人々の記憶が甦り、長い間秘めてきた思いを語り始める。フィルムに閉じこめられていた数々の「物語」が、明らかになっていく。

②【沈黙を破る時～封印された墜落の記憶～】 2014年 48分

TVドキュメンタリー 2014年 48分 カラー 制作：沖縄テレビ放送米軍基地に隣接する沖縄県うるま市川崎。住民2人が犠牲となり、7人が重軽傷を負った米軍機墜落事故。長い間、封印されてきた大惨事の悲しい記憶。なぜ記憶は封印されたのか、沈黙とその理由を探っていくTVドキュメンタリー。体験者の証言を掘り起こしながら、当時の映像群を検証。どの墜落事故を記録したものか、場所も日時も不明な映像を探る中で、沖縄では本土復帰後42年間だけでも米軍機の墜落事故が45件も発生している事実を突きつける。もし、自分の家族が米軍機事故に巻き込まれたら、あなたは現状を看過できるのか。事故で深く傷ついた男性と家族の半生を通して全国の人々に問いかける。第23回FNSドキュメンタリーオスカー大賞ノミネート作品©沖縄テレビ放送

問い合わせ先 東京土建一般労働組合渋谷支部 TEL:03-6304-2315 E-MAIL:dokensib@green.ocn.ne.jp

申込方法 右記のQRコードまたは電話、メールにてお申し込みください

当日連絡先 080-5447-6797(担当書記 阿部裕輔 携帯電話)

